

殺虫殺菌剤

農林水産省登録
第21482号

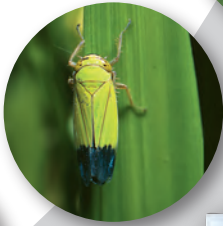
Dr.オリゼ[®] アドマイヤー[®] 箱粒剤

箱処理だけでなく
**側条施用
が可能!!**

いもち病、害虫に
なが〜い W の効果



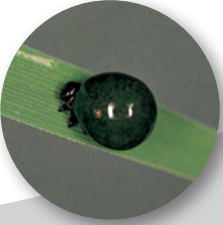
ウナカ類



ツマゲロヨコバイ



イネミズゾウムシ



イネドロオウムシ



いもち病



白葉枯病

殺虫剤分類	4A
殺菌剤分類	P2



アドマイヤー[®]はバイエルクロップサイエンス(株)の登録商標

特長

1) 箱処理で水稻の害虫といもち病の同時防除が可能！

水稻初・中期の主要病害虫であるいもち病、白葉枯病、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ウンカ類、ツマグロヨコバイを同時に防除できます。育苗箱当たり50～100g施用で、長期間にわたって高い効果を示しますので、省力的、経済的です。

2) 移植時側条施用も可能！

側条施用では、箱枚数が変わっても必ず1kg/10a処理されることで、高密度播種育苗をはじめ、様々な栽培にも対応可能。安定した効果を示します。

3) 長期にわたる安定した防除効果！

Dr.オリゼ(プロベナゾール24.0%)は特殊製剤化(有効成分の溶出制御)により長期残効が期待でき、育苗箱処理または側条施用で葉いもちの発病を長期間抑えることにより、穂いもちの感染を抑えることが期待できます。アドマイヤー(イミダクロプリド2.0%)も浸透移行性に優れ、低濃度で高い活性を示すので長期間効果が持続します。

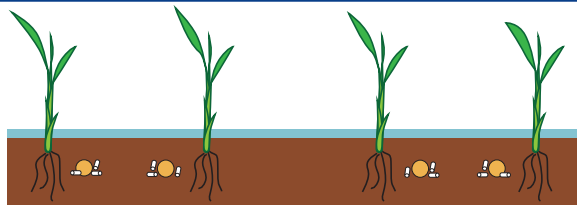
Dr.オリゼアドマイヤー箱粒剤の適用病害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
湛水 直播水稻	いもち病 イネミズゾウムシ	1kg/10a	は種時	1回	は種同時施肥機を用いて土中施用する。	3回以内 (は種時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)	2回以内 (は種時までの処理は1回以内)
稲	いもち病 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ツマグロヨコバイ ウンカ類		移植時		側条施用	3回以内 (は種時(直播)又は移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)	2回以内 (移植時までの処理は1回以内)
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ツマグロヨコバイ ウンカ類	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌 約5ℓ) 1箱当り 50g 高密度には種する 場合は1kg/10a (育苗箱(30×60× 3cm、使用土壌 約5ℓ) 1箱当り 50～100g)	移植2日前 ↓ 移植当日		育苗箱の苗の上から 均一に散布する。	3回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)	

移植時側条施用とは？

解説

- 田植機に専用の側条施肥機を取り付けて、施用します。
- 側条施肥で粒状肥料を施用する溝へ、同時に農薬を施用します。



圃場断面イメージ図 ○：薬剤、●：肥料

メリット

● 高密度播種育苗で安定した効果！

高密度播種育苗では苗のかき取り量が少なくなるため、1株当たりの薬量が少なくなります。



側条施用では箱枚数が変わっても、必ず1kg/10a処理されることで安定した効果を示します。

● 幅広い栽培形態に対応！

高密度播種育苗栽培をはじめ、疎植栽培、稚苗慣行栽培にも対応可能です。

● 安心作業で、環境にもやさしい！

育苗ハウスの後作への農薬残留の心配がありません。また、側条の溝へ埋め込むため、田面水への流亡が減少し、環境負荷が少ない散布技術です。

- 使用前にラベルをよく読んで下さい。
- ラベルの記載以外には使用しないで下さい。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。
- 使用後の空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう、適切に処理して下さい。
- 防除日誌をつけましょう。

お問い合わせ／ご注文は